

下井草図書館 YA だより Vol.16

10代のYA(ヤングアダルト)世代にお届けします。

本の庭

2020年 | 冬号 |



今号の特集『ザ・胸キュン』



BOOKMARK



図書館員からのおすすめ



新刊

Theme Exhibit

今号の特集 「ザ・胸キュン」



『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』 七月隆文/著 (宝島社文庫)

京都の美大に通う高寿は、電車で愛美にひと目惚れをする。付き合い始めた彼女には秘密があり、彼女は未来から過去へ時間が過ぎる世界で生きていた。40日間しか同じ時間を共有できない二人を描く甘く切ない恋愛物語。

[913.6]日本の小説



『荒野』 桜庭一樹/著 (文藝春秋)



「恋」や「好き」という感情がまだよくわからない中学生の少女荒野は、恋愛小説家の奔放な父親と鎌倉に住んでいる。父を困む女性達に翻弄されながらも移ろいゆく季節と共に少しずつ大人の女性に変わっていく。思春期の様子が丁寧に描かれている一冊。

[913.6]日本の小説



『なりたい二人』 令丈ヒロ子/著 (PHP 研究所)



周りの目を気にしてお互いを避けてきた幼なじみ二人が、学校の職業研究を通して「なりたい自分」を見つける話。思春期によくある自分の見た目へのコンプレックスや自分のことを相手に伝える恥ずかしい気持ちなど共感できる部分が出てくる。

[913.6]日本の小説

BOOKMARK

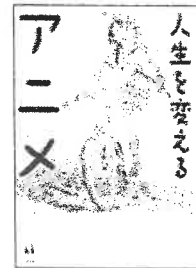
様々なジャンルから
オススメの本を紹介!



『どうしたらいいかわからない君のための 人生の歩きかた図鑑』 石井光太/著 (日本実業出版社)

ひきこもり、いじめ、虐待や貧困などで困っている子供達の問題を実際のケースと照らし合わせながらその対策や相談できる場所を紹介する。

[367.6]児童福祉

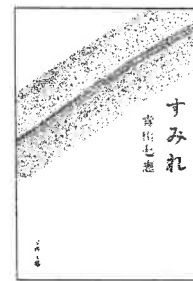


『人生を変えるアニメ 14歳の世渡り術』 河出書房新社/編 (河出書房新社)

様々なジャンルで活躍する27人の著名人が自分の人生を変えるきっかけとなったアニメを紹介する。最近のアニメから昔のものまで、著者のそれぞれ違う視点から幅広く紹介されている。

[778]アニメーション

図書館員からのおすすめ Librarians' Recommended



『すみれ』 青山七恵/著 (文春文庫)

突然の訪問客レミちゃんは、いつのまにか家に住みついてきた。両親の大学時代の友だちだが、「ふつうの人と違う」ところがあって、高校受験目の藍子は戸惑いつつも、彼女に惹かれていく。大人になりきれない37歳のレミちゃんと、もう子供ではいられない15歳の藍子の物語。せつない結末に涙する。

[BG] 日本の小説

新刊

YAコーナーに新しくいった本を紹介



『14歳からの文章術 一生ものの「発信力」をつける!』 小池陽慈/著 (笠間書院)

「書くこと」が苦手な人でも、文章の基礎の基礎を学びながら、社会問題に対する視点を持つこともできる。また、文章術の学びは、読解力を身につけることにも繋がると納得できる一冊。対話形式で読み進めやすい。

[816]文章、文体



『法学を学ぶのはなぜ?』 気づいたら法学部、にならないための法学入門』 森田果/著 (有斐閣)

著者は大学院法学研究科の教授で、いくつかの高校に出かけて法学の模擬講義もしている。その経験を大いに生かして、法学を実にわかりやすく説明している。この本を読めば、法学部へ行くことの意味が明確になること請け合いだ。

[321]法学



季刊 YA だより「本の庭」
4・7・10・1月発行



杉並区立下井草図書館
杉並区下井草 3-26-5
電話:03-3396-7999